

## 0点調整の方法（重要）

### <なぜ調整が必要か？>

工場出荷時は清浄大気の測定値が「00」となるよう厳密に調整しておりますが、ご使用環境(アルコール等の薬品が発するガスの被毒)によりセンサーの0点がずれることがあります(多くの場合、高値を示す)。この状態のまま得られる測定値を採用されますと、誤判定を招くことがありますので、以下の目安と方法で0点調整を行ってください。




0点調整の方法は簡単ですが、センサーの清浄化にはクリーンキーパー(専用活性炭)を交換後、半日程度かかりますので、本機をご使用にならない日時で調整を行ってください。

### <調整の目安>

クリーンキーパーを新品に交換の上、半日静置したにもかかわらずクリーンBOX内の測定値が「10」以上を示す場合。

### <調整の方法>

- ・ 用意するもの 新しいクリーンキーパー・細い棒(精密ドライバーなど)。
- ・ 以下の方法はすべて通電状態で行って下さい。

	<p><b>クリーンキーパーを新品に交換します。</b></p> <p>正確な0点調整には清浄大気が必須です。調整に先立ってクリーンBOX内のクリーンキーパーは必ず新品に交換します。交換後、クリーンボックスカバーを確実に閉じて、半日静置します。</p>
	<p><b>B/B チェッカーを静置します。</b></p> <p>クリーンキーパーを交換しても、すぐにBOX内の空気は清浄にはなりません。センサー清浄化の観点からも交換後は必ず半日静置してください。</p>
	<p><b>センサーを暖気します。</b></p> <p>半日静置後、EG 測定ボタン(赤色)を押し、カラ測定を一度行って下さい。</p> <p>このとき、すべての操作はクリーンボックスにセンサープローブを入れたまま行ってください。</p>

	<p><b>スライドスイッチを露出させます。</b></p> <p>カラ測定が終了しましたら、B/B チェッカー本体を正面に見て左側面にある、黒いフタを外します。黒いフタのない機器をお使いの方はドライバーで側面カバーのネジ 4 本を外し(左図右端画像参照)、カバーごと外して下記作業を行って下さい。</p>
	<p><b>スライドスイッチを調整モードに切り替えます。</b></p> <p>黒フタを外すと奥にスライドスイッチがあります。精密ドライバー等でスイッチを上へスライドさせます(これで調整モードに切り替わります)。</p>
	<p><b>0 調整を行います。</b></p> <p>スイッチを上へスライドさせた後、本体上一番左のボタン <b>OG (黒色)</b> を押します(左図参照)。30 秒のカウントダウンの後 15 秒間、自動的に 0 調整が行われます。</p> <p><b>⚠️ OG を一度押した後は他の操作ボタンを絶対に押さないで下さい。</b></p> <p><b>⚠️ OG 以外を押すと工場での再調整(有償)が必要になります。特にご注意ください。</b></p>
	<p><b>スライドスイッチを測定モードに切り替えます。</b></p> <p>15 秒間の自動 0 調整が終わると「ピー」という音が鳴り、0 調整が終了します(印字はされません)。「ピー」音を確認後、スイッチを下へスライドさせます(これで測定モードに戻ります)。</p>
	<p><b>完了。</b></p> <p>黒いフタを取り付け、完了となります。フタのない機器をご使用の方もお申し付け戴ければ加工を承ります。お申し付けください。カラ測定を行い、BOX 内値が 0 (または 10 以下の低値)になっていることを確認してください。</p>

0 調整は<調整の目安>をご覧の上、むやみに行わないでください。

0 調整を行う際は、必ずクリーンキーパーを交換し、半日静置した後行ってください。

クリーンキーパーはひと月に一度交換してください。交換を怠りますと、センサーの劣化が早まります。

クリーンキーパーの在庫はタッパーボックス等、気密性の高い容器で保存して下さい。

気密性が保てない環境下での保存はクリーンキーパーの劣化を早めます。